

福祉みやぎ

特集
P2~3

温かい支援の輪に感謝



ONE for ALL
ALL for ONE

RISING SUN AGAIN

2011
3.11

WE NEVER FORGET



ここから広がる
ホットコミュニケーション

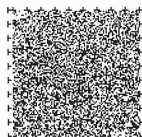
P4

たくさんの真心
ありがとうございます

東日本大震災に関する寄附・支援金

第14回 介護支援専門員実務研修
受講試験のお知らせ

役員異動のお知らせ

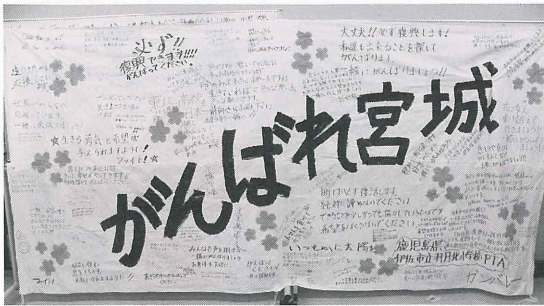


温かい支援の輪に感謝

東日本大震災により、お亡くなりになられた多くの皆様に心より哀悼の意を表するとともに、震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回の東日本大震災については、津波被害により、県内沿岸部の広範囲な地域で甚大な被害をもたらしただけでなく、日本の経済や国民の生活に深刻な影響を与える大規模災害となりました。また、依然として、瓦礫の撤去・行方不明者の捜索が続き、避難所生活や慣れない仮設住宅等での生活を余儀なくされている方も大勢いらっしゃいます。このことは、復旧・復興に長い時間を要するだけでなく、被災した地域ごと状況が異なり、必要とされるニーズも変化することを意味します。更に、過去に例のない規模の災害に見舞われた被災者のニーズは多様かつ複雑であり、支える側も既存の概念に縛られず、知恵を出し合い、被災者支援の充実を図る必要があります。

このような状況下、国・県・市町村等が対応できる範囲も限られるため、被災者のニーズに応じたボランティア活動や、様々な団体の連携による効果的な支援が期待されます。



宮城県社会福祉協議会が他団体と協働設置している宮城県災害ボランティアセンターは、被災した市区町村災害ボランティアセンターへの後方支援や、ボランティアの方への情報提供等に取り組んでおり、今後も被災者が安心した生活ができるよう、復興期の支援に力を結集していきたいと考えております。

なお、発災直後より、本会及び災害ボランティアセンターに対して多大な支援をいただいた団体の皆様をはじめ、全国各地の皆様のご支援・応援に、心から感謝申し上げます。

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
会長 三浦 俊一

宮城県災害ボランティアセンター

平成23年3月11日「東日本大震災」発災により、3月12日「宮城県災害ボランティアセンター」を宮城県・みやぎ災害救援ボランティアセンター・宮城県社会福祉協議会により、宮城県社会福祉協議会に共同設置しました。設置直後から、県内全ての社会福祉協議会を訪問し、被災状況等を確認してきました。また、特に甚大な被害を受けている沿岸部の市区町村を最優先に、災害ボランティアセンターの設置・運営支援のために、職員派遣や資機材の提供等を行ってまいりました。

更に、3月29日、関係団体による協働型に移行し、宮城県自治会館に移設以来、市区町村災害ボランティアセンターの運営支援と情報提供を行っています。



協働団体の活動をご紹介します



「ジャパン・プラットフォーム」は、宮城県災害ボランティアセンター内において、

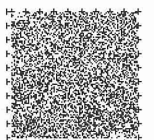
炊き出しを希望するグループと市町行政との調整を行い、被災者に対して、栄養面も考慮したバランスのとれた食事の提供に貢献しています。また、中間支援組織という位置付けにより、被災地で活動している団体に対して活動費の助成をし、行政側の支援では行き届かない部分を埋め、きめ細やかな被災者支援に繋がっています。これは、ボランティア活動だけでなく、多面的な連携が必要となる「食糧・物資のマッチング」「輸送・通信」「生活再建」「災害弱者支援」等、多岐にわたる活動をカバーし、被災者支援を迅速かつ効果的に行うことに繋がっています。

これからも、被災者の抱える課題を明確にし、人・資金・物・情報・ネットワークを有機的に結び付けながら、支援団体が継続して活動できる支援を行う予定となっています。

宮城県災害ボランティアセンターを運営する協働団体

JANIC、Snow Peak、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議、ジャブンプラットフォーム、全国大学生協連、全国社会福祉協議会（近畿・中国・四国ブロック）、せんだい・みやぎNPOセンター、東京都社会福祉協議会VC、日赤宮城県支部、防災科学技術研究所、ボランティアインフォ、宮城県、宮城県企業人材支援協同組合、宮城県社会福祉協議会、宮城県民生委員児童委員協議会、みやぎ災害救援ボランティアセンター、みやぎ生協、杜の伝言板ゆるる、山形県社会福祉協議会、ルーテル教会救援ボランティア、連合宮城（アイウエオ順）

以上の協働団体が宮城県災害ボランティアセンターを拠点とし、被災地での活動のほか、各種調整、資機材調整・調達、電話対応、現地における運営支援・スタッフ派遣等を行っています。このような形態により、被災地のニーズやボランティア活動に関する課題に対して、協働団体間、あるいは行政や現地で活動中の団体と連携して取り組み、人的・物的資源等が有効に結びつくことによって、適材適所によるボランティア活動と災害ボランティアセンターの運営が可能となり、被災された方の支援に繋がっています。



宮城県内の市町村災害ボランティアセンター設置状況



宮城県災害ボランティアセンター
 仙台市青葉区上杉1丁目2番3号（宮城県自治会館）TEL 022-266-3952

※詳しい状況については
 宮城県災害ボランティアセンター
 ホームページをご覧ください。
<http://msv3151.c-bosai.jp/>

宮城県内の市町村災害ボランティアセンターの状況

5月末現在、12の市町村にて災害ボランティアセンターが設置され、現地における被災者のニーズとボランティアを繋ぐ橋渡し役を担っています。発災直後の初期段階では、避難所支援が中心でしたが、徐々に泥出し・片付け等に移行し、今後は仮設住宅への移行、新たな地域コミュニティの形成・地域活動が求められる段階となると予想されず。ただし、壊滅的な被害を受けた一部の地域については、立ち入り禁止区域もあり、行方不明者の捜索や瓦礫の撤去作業の段階となっています。

※ボランティア活動者数
 発災から3ヶ月で約23万人（延人数）

全国の社会福祉協議会からの応援

現在、近畿・中国・四国ブロックの社会福祉協議会の職員が、沿岸部の市区町村災害ボランティアセンターの運営スタッフとして応援に入っています。3月18日から5月31日まで約1,000人（延人数）という協力体制となっています。本当にありがとうございます。

名取市災害ボランティアセンターのご紹介

人口7万2千人余りの名取市は、関上や下増田など津波により約千人の住民が死亡、行方不明という甚大な被害を受けました。そこで、名取市社会福祉協議会は、3月18日、名取市民体育館内に名取市災害ボランティアセンターを開設し、1日平均約200人、延べ約1万3千人（5月20日現在）のボランティアが活躍しています。

主なボランティア活動としては、開所当時は津波被害のない地域の家屋内の片付けや避難所にいる子どもの遊び相手、その後、津波被害のあった地域の泥出しや写真等の拭き取り、そして現在は仮設住宅に生活している方の支援と移行しています。

「私の家は大きな被害がなかったし、学校も休みだからボランティアに来ましたあ」とニコニコ笑う高校生グループ等、地元を中心とした中・高・大学生の若い力が目立った最初の1ヵ月。現在は主婦や年配の方、企業、そして県外の方等、様々な方がボランティアとして来ています。もちろん、行政区長や民生委員の力も欠かせません。困っていてもなかなか手を上げられない、奥ゆかしい東北人気質の被災者に寄り添い、ボランティアニーズとして出せるよう手助けしています。

また、「いってらっしゃい」「お疲れ様でした」と明るい声と笑顔を絶やさない、名取市災害ボランティアセンター

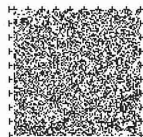
の運営スタッフ。ボランティアの皆さんが気持ちよく活動できるよう、感謝の気持ちで接しています。一方、津波被害のあった地域にボランティア派遣をする際には、名取市社協の会長や常務理事が事前に現地調査をして依頼者と対話する等、常に被災者の心情に触れた対応と、リスク管理も心掛けています。

これからも、名取市災害ボランティアセンターをよろしくお願ひします。

名取市災害ボランティアセンターのキャッチスレーズ

『一人じゃないよ一緒に頑張ろう!!』

愛する名取が元気な町になりますように。





下記の方々から本会に寄附をいただきました。本当にありがとうございました。

- 平成23年1月21日(株)七十七銀行「小さな親切」の会さまより法人のために 100,000円
- 平成23年2月21日東京海上日動火災保険株式会社さまより法人のために 38,334円
- 平成23年4月5日氏家幸子さまより法人のために 30,000円
- 平成23年5月26日東北電力生活共同組合さまより法人のために 300,000円

● ● 東日本大震災に関する寄附・支援金 ● ●

平成23年3月23日	真如苑	1,000,000円
平成23年3月24日	(独)防災科学技術研究所	10,000円
平成23年3月25日	青森県すこやか福祉事業団 八甲学園	100,000円
平成23年3月28日	(社福)朝日新聞 厚生文化事業団	100,000,000円
平成23年3月28日	全国明るい長寿社会づくり 推進機構連絡協議会	60,000円
平成23年3月28日	(財)長寿社会開発センター	60,000円
平成23年 4月 5日	氏家幸子	30,000円
平成23年 4月 6日	真如苑	10,000,000円
平成23年4月11日	北星山妙見院 龍善寺	30,000円
平成23年4月12日	生活協同組合コープこうべ	6,000,000円

平成23年4月13日	(財)日本老人福祉財団	1,000,000円
平成23年4月14日	三菱UFJ信託銀行	1,000,000円
平成23年4月15日	全国福祉保育労働組合 兵庫地方支部 兵庫県社会福祉協議会 共募分会	100,000円
平成23年4月21日	(社福)箕面市社会福祉 協議会 職員労働組合	100,000円
平成23年4月21日	NPO法人らくす	10,000円
平成23年4月21日	中村憲一	10,000円
平成23年4月27日	東日本大震災復興バザー (川崎市麻生区)	105,644円
平成23年5月 2日	東北地方を支援する会	1,000,000円

(社福)京都府社会福祉協議会、(社福)大阪府社会福祉協議会(大阪府市町村社会福祉協議会連合会、大阪府民生委員児童委員協議会連合会)、(社福)高槻市社会福祉協議会、(社福)島本町社会福祉協議会、(社福)兵庫県社会福祉協議会、(社福)新潟県社会福祉協議会、(社福)小千谷市社会福祉協議会、(社福)福井県社会福祉協議会、(社福)和歌山県社会福祉協議会、(社福)明石市社会福祉協議会、(社福)滋賀県社会福祉協議会、(社福)神戸市社会福祉協議会、(社福)奈良県社会福祉協議会

以上の都道府県・市区町村社会福祉協議会等から総額4,830,664円の寄附・支援金をいただきました。(5月末日現在 敬称略)

みなさまからお寄せいただいた寄附・支援金は東日本大震災による復興支援のために活用させていただきます。

第14回 介護支援専門員実務研修 受講試験のお知らせ

■試験日/平成23年10月23日(日) ■申込期限/平成23年7月27日(水)
 ■試験会場/仙台保健福祉専門学校 ※試験案内は6月20日(月)から県庁1階総合案内等で配布しています。
 ※他会場については調整中です。 ■問い合わせ先/宮城県社会福祉協議会 人材育成部研修課研修第一係
 TEL 022-216-5382 (専用)

役員異動のお知らせ

平成23年6月1日付けで理事15人、評議員31人が就任しました。なお、任期は平成25年5月31日までです。

編集後記

あの震災から3カ月が過ぎ、自宅の周辺にも仮設住宅が立ち並び始めました。最近では洗濯物も見えるようになり、少しずつ復興に向かう一歩一歩が感じられるようになりました。
 今回は震災の影響により、発行日を変更のうえ、誌面を縮小し発行いたしました。次号からは通常通りの発行となりますので、宮城の復興へ向けた取り組みも引き続きお届けしたいと考えています。(根)

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
 また、取り上げてほしい内容や情報等を是非お寄せください。
 TEL 022-263-4744 FAX 022-268-5139 E-mail : zimukyoku@miyagi-sfk.net

